

# 南東北創薬・サイクロトロン研究センター

## 新たな医療期待 開院祝う がん診断や認知症超早期診断

(二財)脳神経疾患研究所が郡山市八山田七丁目に建設した「南東北創薬・サイクロトロン研究センター」の開院記念式典は6月1日(土)、現地の特設会場で行われ、関係者はPET検査の新たな可能性を切り開くセンターの役割に



祝 竣工 南東北創薬・サイクロトロン研究センター開院記念

南東北創薬・サイクロトロン研究センターの開院を記念し行われたテープカット

大きな期待を寄せました。関係者約100人が出席。施設の安全と発展を祈願する神事、テープカットに続き、午前11時50分から式典が行われました。あいさつに立った渡邊一夫理事長が「当センターが新たながん診断・治療や認知症の早期発見など、最新医療の一翼を担い、より多くの患者さんに貢献できると考えています」と語りました。畑澤順センター長(大阪大名誉教授)、吉本高志センター

長(脳神経疾患研究所最高顧問)がセンター設立の趣旨を踏まえて、あいさつ。来賓の品川萬里郡山市長、増子輝彦参議院議員(国民民主党幹事長代行)、鎌田光明東北厚生局長、富永悌二東北大学副学長(東北大学病院院長)、齋藤清福島県立医科大学副理事長(ふくしま国際医療科学センター



開院記念式典であいさつする渡邊理事長(左)

## 半導体型PET-CTなど導入

南東北創薬・サイクロトロン研究センターは、南東北BNCCT研究センターでがん治療を進めるために用いる薬剤や認知症の超早期診断につながる薬剤、パーキンソン病の新しい診断薬の研究・開発、



施設内覧会で半導体型PET-CTを見学する住民ら

院長(脳神経疾患研究所最高顧問)がセンター設立の趣旨を踏まえて、あいさつ。来賓の品川萬里郡山市長、増子輝彦参議院議員(国民民主党幹事長代行)、鎌田光明東北厚生局長、富永悌二東北大学副学長(東北大学病院院長)、齋藤清福島県立医科大学副理事長(ふくしま国際医療科学センター

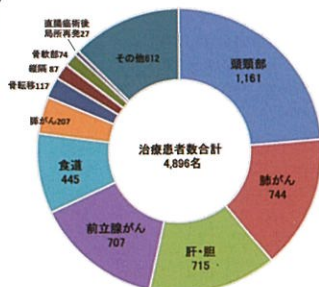
長)が祝辞を述べました。本體工事を請け負った安藤・間への感謝状贈呈があり、渡邊理事長が野村俊明取締役特別顧問に手渡しました。この後、羽生春夫東京医科大学高齡診断科主任教授の発声で乾杯し、センターの開院を祝いました。この日は午後2時から一般職員と地域住民向けにセンターの内覧会も開かれました。

建物物は鉄筋コンクリート造地上2階、地下1階で、延床面積は約1296平方メートル。全身のがんなどを一度に調べることでできる半導体型PET-CT、病変部位の正確な特定ができる動物用PET-MRI、大電流照射が可能なサイクロトロンなどの最新機器・設備を導入しています。所在地は〒963-8052 郡山市八山田七丁目61-0。電話024(934)5610(代表)。

### 当院の目標

- 患者さんに公正な医療を提供します。
- 医師による説明と、患者さんの選択に基づく医療を進めます。
- 患者さんのプライバシーを尊重します。
- 診療情報を患者さん自身にお伝えします。
- より良い医療が行われるよう研修・研鑽いたします。
- 患者さんの人生が最後まで豊かであるようにその意思を尊重します。

### 陽子線治療実績 2019年5月末まで (2008年10月開院以降)



がん陽子線治療センター HPはこちら

